



日本ホーリネス教団
神奈川教区

秦野開拓教会

2004年11月25日
Vol.1 No.8

開拓だより from はだの

『主の御旨に適う教区開拓』

神奈川教区総務部長 伊藤聖治 (茅ヶ崎教会)

主の御名を賛美いたします。秦野開拓を覚えてご支援いただき、感謝いたします。今回は秦野開拓の状況と意義を、教区全体の視野から皆様と共有させていただきたいと思っております。

10月4日の神奈川教区臨時総会にて、秦野開拓を教区開拓として教団開拓クルセードに申請することを承認し、教団に申請いたしました。それに先立ち、秦野開拓において万が一のことが発生した場合の責任の所在を明確にしたいとの教区の意向を受けて、9月5日、上中教区長を交えて開催された茅ヶ崎・萩園教会合同役員会にて、宗教法人格を有する茅ヶ崎教会が責任教会となることが再度決議されました。

さて、茅ヶ崎教会が秦野開拓に関する責任を持つというのに、なぜ教区開拓なのか？という疑問も生じるかと思っております。ここに教区開拓の意義を、神奈川教区の皆様と共有する必要があるのではないかと私は感じています。

秦野開拓に関しては、教区内でも様々なご意見があるかと思っております。開拓の理念、教会形成のあり方、礼拝の形式、賛美のスタイル等々、全ての意見を満足する教会を形成することは相当に困難であると思っております。実際、昨年・一昨年と教区運営委員会・教区総会にて秦野開拓について真剣な討議がなされた中で、各教会からは賛否両論、様々な意見が出され、個人的には、この状況で果たして教区開拓は進むのであろうか、むしろ一教会の開拓に差し戻した方が開拓は早く進むのではないかと感じたこともありました。しかし開拓の業は、決して実行が早ければ早いほど良いというものではありません。多少時間がかかっても、神様の御旨に適う時の中で初めて開拓の業は進みます。

それでは教区開拓を進める中で、主の御旨はどこにあるのでしょうか？ それは一教会・一個人の理想を実現するような教会を開拓することではなく、教区内の多くの方々から支援を受け、祈られ、愛される教会を建て上げて行く過程にあるのではないかと私は思います。

先に茅ヶ崎教会が旧萩園チャペルで開拓を開始した頃、教団や教区には頼らず自分たちの理想通りの教会を建て上げたいという雰囲気の一部にあるように見受けられた時期がありました。しかしながら、結果的には教区の承認を得て教団の開拓クルセード・開拓指定を申請し、教団からの支援をいただいて初めて、現在の萩園教会献堂に至りました。このことから、自力にのみ頼り外部からの支援を拒絶する自己実現的な開拓の進め方は決して主の御旨ではないのだ、一部の人の熱意で推進する開拓の業は実を結ばず、多くの方々からの支援をいただいて初めて開拓の業が成し遂げられるのだと、私は痛感いたしました。

そのような意味で、神奈川教区内の皆様へ、この開拓報を通じて現在の秦野開拓の状況をお伝えできることを感謝しております。ぜひとも教区の皆様へ、秦野開拓についてご理解いただき、ご支援を賜り、秦野を教区17番目の教会として覚えて祈り、愛していただくことによって、主の御旨に適う教区開拓が進められることを切に願っております。



「お証し」

井上織枝

初めまして。私は秦野教会で鈴木牧師の特別講演会に集い翌日の礼拝から通うようになりました井上織枝です。教会へは30年ぶりの聖日礼拝となります。主にある人々と共に神を拝し御言を聞き賛美する中で神の愛で満たされ涙があふれました。それからまだ1ヶ月しか経っていませんが日々の生活の中で神は聖書の中で私に語り、真実をもって恵みを注いでくださっています。今あるのは神の一方的な愛によるのみで信仰によって生かされている、それも神の恵みであることに深く感謝します。昨夜テトス書の中で神は健全な長老を示されました。それは説教者石井兄でした(9月29日秦野御用)。礼拝の中で兄を通して語られた御言は力強く神の深い愛でまた涙です。この放蕩息子の話は何度も聞いたのですが神は新に満たしてくださいました。過去が思い出され、今ある自分に感謝せずにはられません。

私は20代の時死に場所を探していました。その時、不思議な神の導きによって救われました。そして教会生活2年後献身し神学校で学び、伝道師となりました。しかし、その信仰は試され負けてしまったのです。牧師達につまづきを覚え、神に祈っていた答えも見出せず苦しみの中教会を破門されました。10年間でその生活は終わりました。やがて祈りの中御言が与えられ未婚者と結婚しました。それはまた苦難の日々でした。苦しい中で私は10年間ものあいだ歌った聖歌を祈りの言葉、賛美としてきました。聖歌の聖句は神の御言として受け止め恵みの中今日までにいたりしました。

ある日私は大きな悩みがありどうしようもない中で教会へ行くことを神に示されました。それが伝道集会でした。神は信仰をもった者たちと共にいて万事を益としてくださるのでした。今は恐るものは何もありません。ハレルヤ。聖書の中の放蕩息子の様に神の家から離れ再び戻った者に神はご自身から近づいてくださり、兄弟と共に祝宴の席なる教会に集わせてくださりイエス・キリストをほふって聖餐式のときも与らせてくださり感謝でいっぱいです。(2004年9月記)



🙏🙏 尊い献金を感謝します 🙏🙏

横浜いずみ教会、横浜教会、川崎教会、ひばりが丘教会、鶴見教会、茅ヶ崎教会、萩園教会
秦野開拓指定献金送付先...郵便振替口座 00250-8-76253 (口座名: 秦野開拓教会)

集会案内

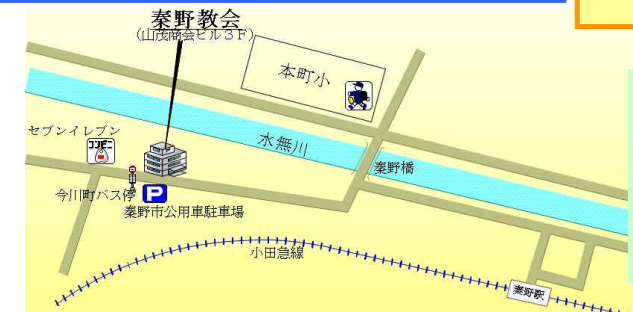
主日礼拝：日曜日午後2時半～3時半
(教会学校も同時に開催！)

礼拝後にティータイム。楽しい交わりのひと時
祈祷会(伝道集会)：第三火曜日 午後1時半
英会話教室：毎週火曜日午後4時半(子ども対象)
(教会にて) 午後7時 (大人対象)

〒257-0051 神奈川県秦野市今川町8-1
山茂ビル3F
電話:090-1200-4929

郵便物等は事務局宛へお願いします。

〒259-1301 秦野市羽根105-16 石川方
秦野開拓教会事務局



小田急線秦野駅
徒歩10分 or
神奈中バス
神 01, 秦 15, 秦 18 系統
今川町バス停下車